

令和５年度 岸和田市指定管理者モニタリングチェックシート

1. 基本情報

施設名（所在地）	岸和田市まちづくりの館（岸和田市本町８番８号）		
指定管理者名	本町のまちづくりを考える会		
指定管理料	7400000円	指定管理期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
公募/非公募	公募	施設所管課名	魅力創造部観光課
施設運営の根拠となる計画等	岸和田市まちづくりの館条例		

2. 事業報告書の概要

管理業務の実施状況	専属職員及び岸和田市シルバー人材センター派遣職員による集会室利用等の施設管理及び来館者への観光案内を実施している。 また日常的な施設内点検や各種研修等の実施により、事故等は発生していない。 新型コロナウイルス感染症予防のため、施設内の定期的な換気や消毒、職員の体温測定など新型コロナウイルス感染症対策を継続して実施。 館内を常に清潔に保ち、まち歩き観光における交流・休憩の場として、快適な空間の提供を心がけている。
運営業務の実施状況	周辺の観光案内、集会室利用等の施設管理及び地場物産の展示等を実施している。 また、近隣施設やボランティアガイド、地元町会との連携により歴史文化に関わる事業展開や四季折々の展示等を実施し、まちづくり活動の拠点としての役割を果たしている。
施設の利用状況	利用者数推移（3ヵ年度分記入してください。）
	令和３年：7,523人、令和４年：13,936人、令和５年：13,971人
	入場料収入等推移（3ヵ年度分記入してください。）
	令和３年：51,000円、令和４年：76,500円、令和５年：63,000円
	上記推移の理由等
	新型コロナウイルスが緩和された影響で、施設利用者数はコロナ禍である令和3年と比較すると令和4年に引き続き約2倍となっている。市および、地域主催イベントがコロナ前と同じように実施されるようになり、それに伴い集会室を利用する機会が増加したことが要因であると考えられる。また、観光客数もコロナウイルス流行前のように戻り、歴史文化資料の収集・展示、休憩などの目的で施設に立ち寄る人が増加したと考えられる。

3. モニタリングチェック

総合評価	個別評価・理由・意見等
A1	1 履行確認
	A1 法令や協定書等を遵守した適正な管理運営が実施されており、事業計画に沿った事業展開が行われている。
	2 サービス水準の確認
	A1 近隣施設や地元住民等との連携がとれており、来館者に対してきめ細やかな対応が行われ、適切なサービス水準が保たれている。
	3 事業収支の確認
	A 適正な予算執行がなされている。
	総合評価理由・意見等
	各項目において、新型コロナウイルス感染症も考慮しながら事業計画書等に沿って適正に管理運営がなされている。 地域と連携した事業展開が適切に実施されており、また、積極的に救命救急講習を受講するなど、安全・安心で快適な環境づくりを行い、まちづくり活動の拠点としての役割を果たしている。

4. 今後の方向性

業務実績を振り返り、今年度どのような取組みを実施する予定か（今年度の事業計画書等に反映された点）。	新型コロナウイルス感染症が緩和されたことにより、イベント等の開催については引き続き通常通り実施予定。地域住民や周辺施設と協力しサービス水準を保つ取組を実施する。また、観光客数増加が予測されるため、歴史やまちなみに関する説明を適切に行うために、知識の習得をおこそう。 昨年度は緊急時受け入れ体制強化のために、救命救急講習を実施。（新型コロナウイルスの影響により、昨年まではオンライン研修。）今年度も引き続き実施し、今後も施設利用者にとって、安心・安全な施設づくりに努める。 今年度より、インバウンド需要に対応する為に多言語対応したパンフレット作成及び設置、多言語音声翻訳アプリを活用予定。また、インバウンド対応能力強化研修テキストや教材を活用し、インバウンド対応の応力を高め、外国人観光客の受け入れ態勢を整える。
---	---